

平成26年10月20日判決言渡

平成26年(行ケ)第10140号 審決取消請求事件

判 決

原 告 X

被 告 特 許 庁 長 官

主 文

本件訴えを却下する。

訴訟費用は原告の負担とする。

事 実 及 び 理 由

第1 原告の求めた判決

特許庁が不服2007-19402号事件について平成21年6月22日にした審決を取り消す。

第2 事案の概要

- 1 本件は、原告が、前記第1記載の本件審決の取消しを求める事案である。
- 2 記録によれば、本件訴えの提起に至る経緯は、以下のとおりである。

(1) 原告は、平成9年12月24日、発明の名称を「容積形流体モータ式ユニバーサルフューエルコンバインドサイクル発電装置。」とする発明について、特許出願（特願平9-370506号）をしたが、平成19年4月27日に拒絶査定がされ、これに対し、同年6月14日、不服の審判（不服2007-19402号事件）を請求した。

(2) 特許庁は、平成21年6月22日、「本件審判の請求は、成り立たない。」

との本件審決をし，その謄本は，同年 7 月 12 日，原告に送達された。

第 3 当裁判所の判断

本件訴えは，平成 26 年 6 月 5 日に提起されたものであるところ，前記第 2 のとおり，本件審決の謄本の送達があった日から 30 日を経過したことが明らかであるから，確定した審決に対する訴えであり，不適法でその不備を補正することができないものである。

よって，行政事件訴訟法 7 条，民事訴訟法 140 条により，口頭弁論を経ないで，判決で，本件訴えを却下することとし，主文のとおり判決する。

知的財産高等裁判所第 2 部

裁判長裁判官

清 水 節

裁判官

中 村 恭

裁判官

中 武 由 紀